



地域で「生き生き」と活動する若者

松本市では、「松本市地域づくりインターンシップ戦略事業」と「松本市地域づくりヤングマイスター認定制度」を実施し、若者がより地域づくりに関わることができ、地域に新たな風を吹き込む彼らの活動を紹介します。

若者ならではの視点で、地域に新たな風を吹き込む彼らの活動を紹介します。

松本市地域づくりインターンシップ戦略事業

若者が地域活動や地域づくりに関わることで、地域の活性化や人材育成、若者の地域定着を目的に、松本大学と協働で行う事業。

平成27年度から始まり、現在まで1、2期生が3年間の活動を終了。現在、3～5期生の8人がインターン生として市内で活動中。

松本市地域づくりヤングマイスター認定制度

平成29年度に創設した、地域の活性化に貢献した若者を認定する制度。

インターン生と、市内在住の20～39歳の方で地区または町会役員等を3年以上行い、地域づくりに携わっている方（地域からの推薦）が対象。



今年度は、4人がヤングマイスターとして認定されました。左から横石さん(次ページで紹介)、小林克紀さん/寿地区、市長、中島麻衣さん/庄内地区、北原保奈美さん/中山・新村地区



令和元年度インターンシップ (5期生) 入山辺地区担当

平林 洸 さん



松本市在住。23歳
松本大学卒業
入山辺地区地域づくりセンター勤務

平林さんは、入山辺地区で、地域活動の後継者不足などの課題を楽しく解決できるように活動しています。主に地域住民が立ち上げた入山辺地区の将来ビジョンを考える会、愛称「こんな山辺にするじゃん会」に参加しながら活動について研究しています。写真はこんな山辺にするじゃん会の活動の一つ、「田んぼのわプロジェクト」で田植えをしているところと、中心市街地の上土町と連携して行っているふれあい新鮮市の様子です。

「この活動を通じて『交流のわ』を広げ、中山間地域の新たなあり方について勉強していきたい」と話します。

SBC信越放送「わたくしたちの松本市」(3月28日出午後3時～放送予定)で、地域づくりの取り組みとして入山辺地区を取り上げます。※詳細は「広報まつもと」3月号に掲載

